

※ 海外ニュース ※

ドイツ 2025 年 3 月 21 日 Meridiam

■ メリディウム社、ドイツで南北を結ぶ重要な高速道路 A49 の開発を委託される

Meridiam commissions the A49 motorway, a vital North-South link in Germany

投資家兼資産運用会社のメリディウム社と同系列会社のストラバック社は、2025 年 3 月 21 日、30 年契約で高速道路 A49 の建設を委託された。費用は 10 億ユーロに達し、全長 61km の距離のうち 31km が新たに敷設される。カッセルとフランクフルトを結ぶこの道路は、経済的および社会的発展を促進し、地方と都市の渋滞改善に貢献するといわれている。750 ヘクタールが新たに開発され、新たに 10 個の池が作られ、引き続きイモリ、トカゲ、カエルの生息地となる予定である。これらの生物が安全に道路を渡れるように緑の橋も作られる予定である。

フランス 2025 年 3 月 31 日 Le Figaro

■ ヴィンチ社：英国の道路事業複数年契約の更新を行う

Vinci : renouvellement d'un contrat pluriannuel de services routiers au Royaume-Uni

ロンドン北部のハートフォードシャー州は、道路建設運営会社リングウェイとの長期契約を更新した。最初の契約は 2012 年であった。今回の契約更新は 2025 年 10 月 1 日に発効となり、2039 年までに 2 回の 7 年契約更新の機会があり、2046 年まで存続する見通しである。年間契約金は 6,500 万ユーロで、5,000km の道路管理運営と道路の照明および信号の管理等を行う。道路管理運営の内容としては他に、道路に溢れ出た水の排水と、道路表面の窪みの修復、砂利敷き作業、草刈り、環境緑化、緊急時の道路工事などがある。

英国 2025 年 4 月 1 日 Highways Magazine

■ ブログ：AI シンポジウム — 道路の未来を切り開く

Blog: The AI Symposium - driving the future of highways

2 月 26 日、業界のリーダーらが道路管理における AI に関し、画期的なシンポジウムを開くため、ロンドンのイギリス土木学会本部に集まった。この円卓会議はハイウェイズ・マガジンと FYLD 社により主催されており、道路およびインフラ部門における AI の変革可能性について議論するため重要な意思決定者や思想的指導者を集めている。この円卓会議で一致した意見は明らかで、AI の活用はより安全で効率的な道路を生み出すために必須となる。実際の応用に焦点を当て協調関係を育てることにより、この部門で公共の安全や運営効率を高める大きな可能性を解き放つことが可能となる。

ドイツ 2025 年 4 月 4 日 Toll Collect

■ 高速道路通行料の徴収を担う Toll Collect 社が利用規約を改定

Änderung unserer AGB

ドイツの高速道路料金徴収システムを運営する Toll Collect 社は 2025 年 3 月 28 日付で、前回の法改正に準じた一般利用規約改定を公表した。2023 年 12 月 1 日付で連邦幹線道路料金法が改正され、同法第 5 条 1 項によって、「料金徴収に関連する事実は Toll Collect 社に対しても証明されなければならない」と定められた。今回、これに合わせて同社一般利用規約第 22 項では新たに、「新車両の登録や車両データ変更の際にも、料金徴収に関連する事実を証明しなければならない」と定めた。また車載機のブロックに関する規定も変更し、第 35.1 項で、「顧客が期限内に証明書類提出義務を履行しない場合には、車載機をブロックすることができる」とした。

オーストラリア 2025 年 4 月 4 日 World Construction Network

■ オーストラリアの M12 号線が大規模建設の節目に到達

M12 Motorway in Australia reaches major construction milestone

オーストラリアのニュー・サウス・ウェールズ州政府は、通行料無料の M12 号線の建設における大きな節目を発表した。道路の 14km 区間が現在完成している。この発表はプロジェクトのスケジュールや予算を踏まえたもので、ウェスタン・シドニー国際空港への 2026 年の開港後の直接アクセスの下地となるものである。現在 M12 号線の完成部では修景、標識設置、安全インフラ実装が行われている。運用可能となれば、この高速道路

はバジェリーズ・クリークの同空港とエリザベス・ドライブやノーザン・ロードを含むシドニー高速道路網の間で橋渡しとしての役割を果たす。

イタリア 2025 年 4 月 8 日 Münchner Merku

■ ブレンナー高速道路：通行料金値上げの可能性

Brennerautobahn: Urlauber könnten mit Preiserhöhung konfrontiert werden

イタリアのインフラ・交通省は 2025 年初め、オーストリア・インスブルックを起点として南北アルプスをつなぐブレンナー高速道路のイタリア側管理運営権の公募を開始した。管理運営権は 50 年間とされ、事業には路面、ガードレールやパーキングエリアの改修維持や、そのための通行料徴収が含まれる。これを受けてオーストリア・チロル州緑の党は、同国交通省ペーター・ハンケに対し、この公募に応じて同高速道路イタリア側の管理運営に参画すること、特に通行料をオーストリア側と同等に改正するよう要請した。これまでイタリア側の通行料がオーストリア側より大幅に安いという不均衡があったためだが、これが実現すればドイツからのバカンス客にも影響が生じる。

イタリア 2025 年 4 月 9 日 ASTM

■ 安全と一緒に旅をしましょう：道路運営管理センターの主な役割

Viaggiamo insieme in sicurezza: il ruolo chiave dei Centri Operativi di Controllo

アウトストラダ・トリノ・ミラノ・グループ (ASTM) は、イタリアとブラジルの高速道路網の中で、5,900km を超える距離を管理運営するコンセッション会社である。今回の道路網の拡張で、同グループは世界で 2 番目の高速道路運営会社へと昇り詰めたが、交通の利便性とインフラ管理について高度な要求に応える必要がある。また、質的にも高度なレベルを補償する必要があり、利用者にとって確固たる安全性を担保しなければならない。

ドイツ 2025 年 4 月 9 日 ADAC

■ 高速道路上の安全性向上のための C-ITS 警告標識システム — 1,000 台への機器搭載を完了

1.000. Baustellenwarner für mehr Sicherheit auf Autobahnen übergeben

アウトバーン社は現在、同社の管理事務所が所有する移動型通行止め標識に C-ITS (協調型高度道路交通システム) 用通信機器を搭載するプロジェクトを推進中である。このシステムにより、工事現場に近づく車両に対して適時警告することが可能になる。現在までに 1,000 台、2025 年 6 月末までには計 1,200 台への取付けを完了する予定で、これにより工事関係者とドライバーの双方の安全性向上を目指す。現在、欧州全体では 150 万台以上の車両が C-ITS 車載機を搭載している。これらの車両が工事現場に近づくと、C-ITS にコネクされた標識からアドホックモードでの WLANp 通信によって車両ディスプレイに直接警告が表示され、ドライバーは適時に車線変更、減速などの対応を行うことができる。

ドイツ 2025 年 4 月 11 日 ADAC

■ 運転中の携帯使用：ラインラント・プファルツ州で監視カメラによる取り締まりがスタート

Handy am Steuer: Kamera-Blitzer in Rheinland-Pfalz gehen an den Start

ドイツでは運転中の携帯電話の使用が禁止されているが、西部ラインラント・プファルツ州では全国に先駆けて、これを取り締まる監視カメラ導入のための法整備を行った。新たに成立した同州警察法条項により「Monocam」システムの導入が可能となった。これは高速道路上の橋梁に高解像度のカメラを取り付け、走行車両のフロントガラス越しに一定の手の動き等が確認された場合に写真を撮るもの。撮影された写真は訓練を受けた警察官が確認し判定する。一台目の Monocam は既に 4 月 11 日から A60 号線で稼働しており、今後は台数を増やす予定である。違反が確認されたドライバーは、100 ユーロの罰金と違反点数 1 点が科せられる。この監視システムは今後ドイツ全土に拡大する可能性が大きい。

オランダ 2025 年 4 月 14 日 Münchner Merku

■ 隣国オランダがイースターを前に高速道路制限速度を大きく変更

Nachbarland mit großer Autobahn-Änderung kurz vor Ostern

オランダ交通省は、2025 年 4 月 14 日から高速道路の一部区間で再び最高時速 130km/h での走行を 24 時間認めると発表した。同国では 2020 年、全土で日中の制限速度が 100km/h に引き下げられたが、今回はこれを再び緩

和したもの。今回の緩和はまず A6 号線、A7 号線上の 3 カ所、合計 117km の区間に適用される。この政策を受け、一部では環境への悪影響を懸念する声も上がっている。そもそも 2020 年に制限速度 100km/h を導入した背景には、窒素酸化物の排出削減と自然環境保護という目的があったからである。これに対し政府は、今回速度規制緩和を適用する区間では詳細な調査を実施済みであり、緩和は騒音規制値の超過にはつながらず、自然環境への大きな悪影響もない、としている。

英国（ケニア） 2025 年 4 月 16 日 construction Technology

■ ケニアがヴィンチ社との 13 億ユーロの道路取引を終了

Kenya terminates €1.3bn highway deal with Vinci

政府関係者や情報筋によると、アフリカの国家ケニアは、フランスに拠点を置くヴィンチ社が率いるコンソーシアムとの 13 億ユーロの道路拡張取引を終了し、代わりに中国の請負業者へ移行するとみられる。140km の一車線道路を首都ナイロビと地溝帯都市ナクルを結ぶ多車線道路に作り変えるこの取引は、2020 年、当時のウフル・ケニヤッタ大統領の訪仏時にパリで署名されていた。ケニアの契約終了の決定は、政府当局が契約条件の再考を模索し、ケニア高速道路公社によると不十分な交通需要によるリスクを政府に負わせる契約条件であったためである。

英国 2025 年 4 月 16 日 Global Highways

■ 英国の M1 号線で緊急エリアが完成

Emergency areas for UK's M1 complete

コステイン社は SMP 同盟の一員として、取引先の National Highways のために、英国の混み合う M1 号線で緊急エリアを設置する仕事を完了した。建設は同道路上の 41 の緊急エリアで完了している。作業は提携企業の SMP 同盟により、予定より早く完了している。このエリアはダービーシャー州とサウス・ヨークシャー州間の 48km 超に及ぶ 3 つの計画に対応するもので、道路利用者に安全上の恩恵をもたらす。新たな緊急エリアは、3 億 9,000 万ポンドの投資計画である National Highways の国家緊急エリア改良プログラムの一環で、停止車両検出のような技術で道路網の安全性を改善する狙いがある。

スペイン 2025 年 4 月 17 日 Münchner Merku

■ ドイツ人に 1 番人気の休暇先で高速道路に新システム導入 — 速度制限 120km/h から引き下げも

Große Autobahn-Änderung in beliebtestem Urlaubsland der Deutschen – hier fällt das 120 km/h-Limit

スペイン北東部カタルニア地方の高速道路 AP-7 号線沿いに動的な速度制限システムが導入された。これは人工知能（AI）を使い、リアルタイムで最適な速度制限値を算出するもの。通常スペイン高速道路での速度制限は時速 120km である。今回導入された動的交通制御システムでは、動的道路標識が渋滞、事故等の危険や天候状況等による規制の警告を適宜表示し、その時の状況に最適な速度制限や追い越し禁止の指示を出す。従って最高制限速度が大幅に抑制されることがある。また、このシステムで車線規制や規制解除等も可能。導入のねらいは交通事故の削減で、CO₂ 排出削減や燃料消費の効率化なども期待される。同様の交通制御は既にドイツやフランスでも導入されている。

フランス 2025 年 4 月 17 日 Le Figaro

■ 新しい道路標識が道路交通法に正式に採用され、違反すると 135 ユーロの罰金が課せられる

Ce panneau entre officiellement dans le code de la route, ne pas le respecter peut coûter 135 euros d'amende

2025 年 4 月 9 日以降、新し道路標識が正式に道路交通法に採用されることになった。道路の安全を図るために、垂直に設置される標識が登場する。この標識は緊急停止用車両で停止または徐行する車両を見つけたら、減速しその場から離れ、可能であれば車線を変更することを求めている。車両が立ち往生している際に特別なライトやランプを用いて緊急停止を知らせるが、そのとき適切な行動を他の車両に取らせることが、今回導入される標識の目的である。

ドイツ 2025 年 4 月 22 日 Münchner Merku

■ ブレンナー高速道路運営会社が大黒字決算を発表 — 1 日あたり通行車両 46,000 台

Brenner-Autobahn meldet sattem Gewinn – durch 46.000 Autos pro Tag

インスブルック（オーストリア）からモデナ（イタリア）に通じるブレンナー高速道路のイタリア側管理運営

会社 Brennerautobahn AG がこのほど発表した決算によると、2024 年度に同社は売上 4 億 550 万ユーロ、純益 9,792 万ユーロ（前年度比 22% 増）の大幅な黒字を記録した。また同年にブレンナー峠～モデナ区間を走行した車両数は 1 日平均約 4 万 6,000 台で、累計走行距離は 52 億 8,000 万 km に達するという。ただ、この高速道路の管理運営にかかるコストも莫大であり、Brennerautobahn AG によると昨年度は保全改修と新規投資に合計 1 億 2,520 万ユーロを費やした。うち半分以上にあたる 7,460 万ユーロを保全工事に投じており、内訳は路面舗装の改修に 2,690 万ユーロ、標識や通行止め装置が 770 万ユーロとなっている。

米国 2025 年 4 月 22 日 Governors Highway Safety Association

■ 州知事幹線道路安全協会とミシュラン・モビリティ・インテリジェンス社が道路安全データ解析を促進

GHSA, Michelin Mobility Intelligence Fund Advanced Roadway Safety Data Analysis

National Highways gets £4.8bn for 'interim settlement' year

州知事幹線道路安全協会とミシュラン・モビリティ・インテリジェンス社は、道路の安全性を向上させる高度データ解析利用への取組みを拡大中である。競争的補助金で 3 州に 30 万ドルを提供しており、道路を利用者全員にとって安全にできる新たな洞察を得るため最先端データを利用できるようにする。コネチカット、ノースダコタ、ワシントンの州政府幹線道路安全事務所はミシュラン・データ・サービスで各々 10 万ドルを受け取る。これにより各州は交通安全、危険多発地帯、資源活用場所に関し、より新しく完全に繊細な理解を深めることができる。

英国 2025 年 4 月 23 日 Highwaysindustry.com

■ マールバラ・ハイウェイズ社がヘイヴァリングの道路や街路照明を作り変える 1 億 7,000 万ポンドの契約を請け負う

Marlborough Highways Secures £170m Deal to Transform Havering's Highways and Street Lighting

ロンドンに拠点を置くこの中小企業は、2 つからなる道路サービス契約双方の獲得に成功した。1 つ目は道路整備と資本工事、2 つ目には街路照明および小規模改修工事が含まれる。この包括契約にはヘイヴァリング・ロンドン自治区の道路網の維持・改善や不可欠な洪水管理、駐車、交通改善構想等が含まれる。一方、街路照明サービス契約では、同自治区の照明インフラを再生、現代化するための重要な機会等が与えられている。当初 6 年間にわたる契約には、パフォーマンス指標に応じた追加の 4 年間延長のオプションが含まれている。

米国 2025 年 4 月 24 日 Roads&Bridges

■ アリゾナ州が州間高速道路 19 号線に逆走検知システムを設置

Arizona to Install Wrong-Way Detection system on I-19

アリゾナ州の交通局はトゥーソンからノガレスまでの州間高速道路 19 号線沿いに、検知・警告システムを設置している。このシステムは車両の逆走が検知された場合に、一般の人々や法執行機関に注意を喚起する。この 500 万ドルのシステムは、620 万ドルの高度道路交通プロジェクトの一部である。逆走車を検知するため道路沿いにカメラが設置される。検知されると頭上の掲示板が運転者に注意を喚起し、アリゾナ州公衆安全局が通知を受ける。同交通局はこのシステムが今年中または 2026 年初頭に完成すると見込んでおり、これが州全体に広がることを期待している。

イタリア 2025 年 4 月 24 日 Il Fatto Quotidiano.it

■ 政府の管理下に置かれた高速道路運営、資金投入は減少し、その未来は不安定になる

Autostrade con controllo statale ossia meno investimenti e futuro incerto

現在、イタリアの高速道路網の再構築のために 230 億ユーロが投入され、政府とインフラ関連省庁から高速道路網の運営を行う会社数社の株式の公示が実施される予定である。イタリア政府は、事実上いくつかの高速道路の所有者であり、道路建設会社に発注する当事者である。2022 年のイタリア国法令で Aspi 社を政府が買い上げたことが事の発端である。続いてベネトン社も約 82 億ユーロで、政府から受注している。イタリアの高速道路の総距離は 6,000 km に達する。